

# “札幌発”生ごみ水切り器 モニター調査結果報告

[調査実施機関] 札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進課

[業務受託機関] 総合商研株式会社地域新聞ふりっぱ一事業部

(平成26年10月)

## I 調査の目的

札幌市が産官学共同研究により開発した“札幌発”生ごみ水切り器を使用し、一般家庭で生ごみの「水切り」を実践してもらうことにより、生ごみの減量意識を醸成するとともに、水切り効果の検証・データ収集を行い、その調査結果を今後の生ごみ減量普及啓発に活用する。

## II 調査概要

### 1) 内容

協力世帯に水切り器とデジタルはかり等の物品を配付し、水切り前後の生ごみの重さの計測を依頼。また、モニター調査前後の生ごみ減量に対する意識変化をアンケート調査により検証。

### 2) 期間

平成26年8月1日から9月5日まで

※協力世帯は実施期間の中で可能な日に計測を実施する。記録回数は問わないが目安として、14回以上の記録を依頼。

### 3) 対象

札幌市内に居住する300世帯

**報告 268名**(回収率 89.3%) ※うち3名は調査票のみ返送。

**未提出 32名**

### 4) 協力世帯への配布物

- ・“札幌発”生ごみ水切り器 1個
- ・生ごみ水切り器用袋 1袋(50枚入)
- ・デジタルはかり 1個
- ・調査実施要領 1部
- ・調査依頼書 1部
- ・調査票 1部
- ・アンケート用紙 1部
- ・返信用封筒 1部

## III 実施スケジュール

[1] 7月15日～7月27日:モニター募集

[2] 8月1日～9月5日:モニター実施期間

## ■計測方法について

計測の手順は以下の通り。※[資料]調査実施要領「達人の手引き」より抜粋。



[資料]調査実施要領「達人の手引き」

**はじめよう! 生ごみダイエット 達人の手引き**

**生ごみ水切り器モニター調査**

**今、どうして「水切り」なの? 水切りとエネルギー**

**モニターキット 1 内容物を  
ご確認ください。**

- アンケート
- 調査票
- 調査票のひき出し
- デジタル量り
- 生ごみ水切り器用袋

# 調査結果

## 【モニター属性】

■調査結果回答者数 268名

■アンケート(属性含む)回答者数 266名

性別	回答数(人)	割合(%)
女性	227	85.3 %
男性	39	14.7 %

年代	回答数	割合(%)
20代	24	9.0 %
30代	68	25.6 %
40代	89	33.5 %
50代	54	20.3 %
60代	24	9.0 %
70代以上	7	2.6 %

居住区	回答数	割合(%)
中央区	27	10.2 %
北区	21	7.9 %
東区	38	14.3 %
白石区	29	10.9 %
厚別区	19	7.1 %
豊平区	40	15.0 %
清田区	12	4.5 %
南区	18	6.8 %
西区	45	16.9 %
手稲区	17	6.4 %

職業	回答数	割合(%)
主婦	129	48.5 %
会社員	60	22.6 %
アルバイト	32	12.0 %
無職	28	10.5 %
フリー・自営業	8	3.0 %
公務員	4	1.5 %
学生	3	1.1 %
その他	2	0.8 %

家族構成	回答数	割合(%)
夫婦と子どものみ(核家族)	141	53.0 %
夫婦のみ	63	23.7 %
一人暮らし	23	8.6 %
その他	23	8.6 %
親子二世帯	15	5.6 %
無回答	1	0.4 %

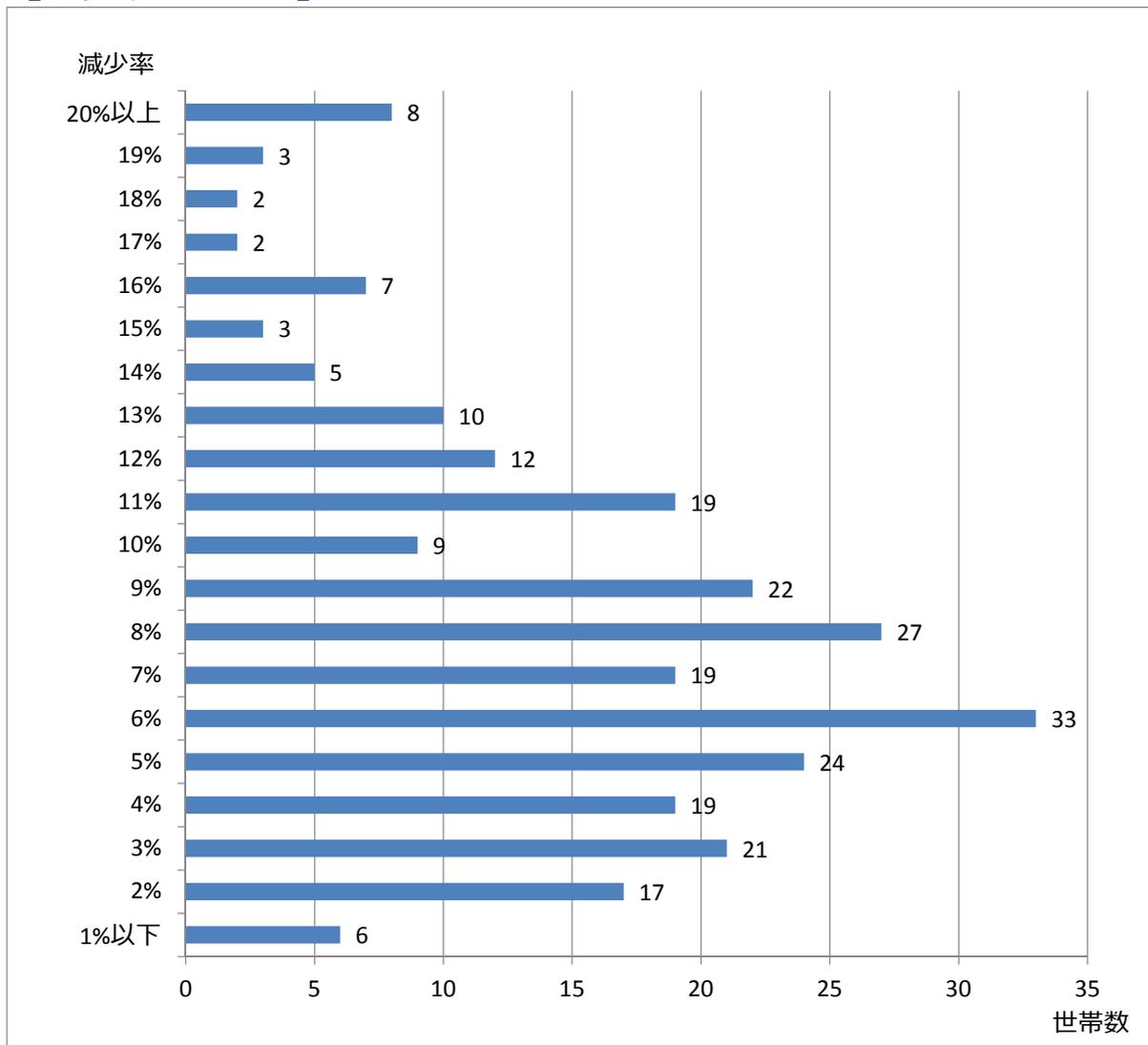
住居形態	回答数	割合(%)
集合住宅	137	51.5 %
一戸建て	118	44.4 %
その他	9	3.4 %
無回答	2	0.8 %

※割合は小数第2位を四捨五入している。このため、合計が100.0%にならない場合がある。

## 【調査結果数値】

モニター数 268 世帯  
記録回数 4,610 回  
減少率 8.0% ※1 世帯あたりの減少率の平均

## 【減少率について】



本調査での268世帯の水切りにより、およそ1ヶ月で94.5kgの生ごみ減量につながった。1世帯あたりの減少率は平均8.0%であった。

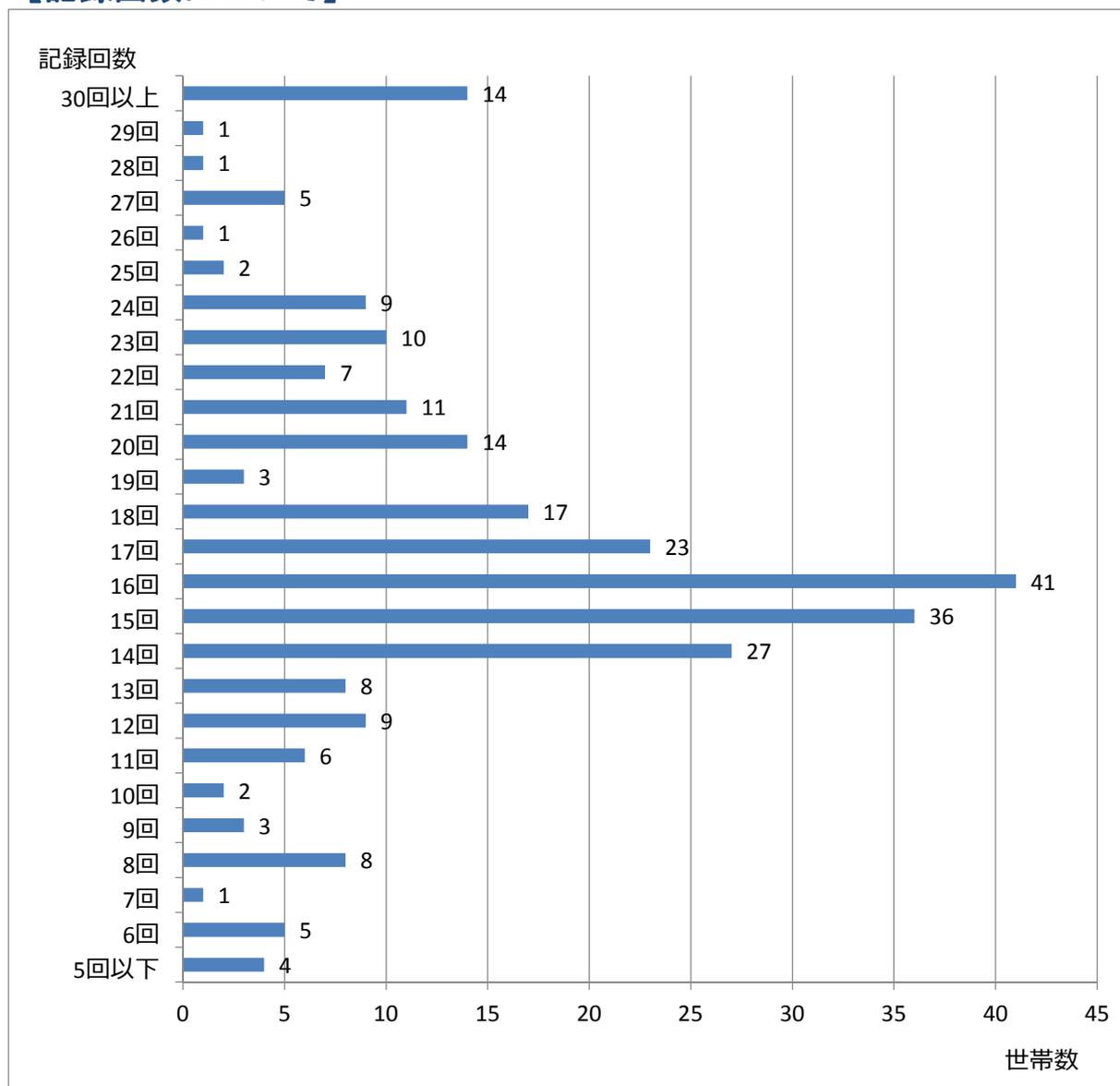
減少率の最高値は29.4%、最小値は0.4%であった。アンケートの結果から、しぼる生ごみの種類や水をしぼるタイミングなどが減少率の差に関係していると考えられる。

しぼった生ごみの種類を分類すると、減少率の高い回は、お茶がら（調査期間が夏だったため麦茶のパックが多かった）や果物などをしぼっており、減少率の低い回は卵の殻やとうもろこしの芯、魚の骨などが混入していた。また、減少率の高い世帯は生ごみを細かくする、何回もしぼるなどの工夫を行っていた。逆に減少率の低い世帯は、野菜の皮は始めからぬらさない、ごみの日にまとめてしぼるなどの回答があり、ある程度乾燥したものを水切りしていたと考えられる。

いずれの世帯においても「水を切るだけでこんなに生ごみが減ると思わなかった」「一回り小さいごみ袋を使うようになった」など減量効果を実感した声が多く聞かれた。

さらに、家庭でのごみの排出量を記録することで、どう処理すればごみを減らせるかを考え、ごみ減量への意識が芽生えた、または再確認できたという声も多く寄せられた。

## 【記録回数について】



記録回数の最多は35回で、30回以上（約1ヶ月間）取り組んだ世帯が、14世帯あった。最も多かったのは16回で、14回（2週間）以上取り組んだ世帯が80%以上を占めた。

## 【世帯構成別の平均値】

	世帯数（割合）	記録回数（回）	減少率
夫婦と子どものみ（核家族）	141（58.3%）	17.2	7.8%
夫婦のみ	63（26.0%）	18.7	7.0%
一人暮らし	23（9.5%）	13.8	9.3%
親子二世帯	15（6.2%）	17.1	8.6%

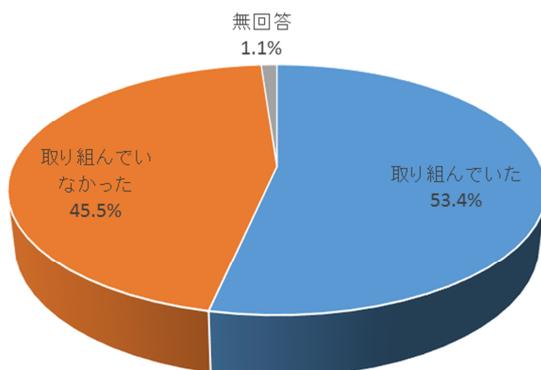
世帯構成別で見ると、「一人暮らし」と「親子二世帯」で特に減少効果が見られ、全体より高い値を示している。

# アンケート結果

・回答者数 266名

## Q1. モニター参加以前、生ごみの水切りに取り組んでいましたか？ [回答者数=266]

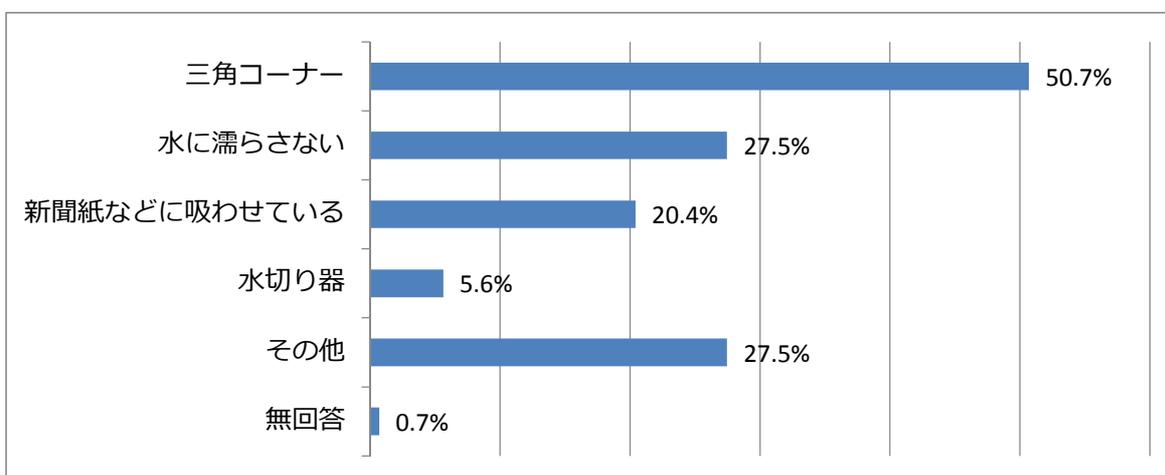
	回答数(人)	割合(%)
取り組んでいた	142	53.4%
取り組んでいなかった	121	45.5%
無回答	3	1.1%



## Q2. どのような方法で水切りを行っていましたか？(複数回答) [回答者数=142]

	回答数(人)	割合(%)
三角コーナー	72	50.7%
水に濡らさない	39	27.5%
新聞紙などに吸わせている	29	20.4%
水切り器	8	5.6%
その他	39	27.5%
無回答	1	0.7%

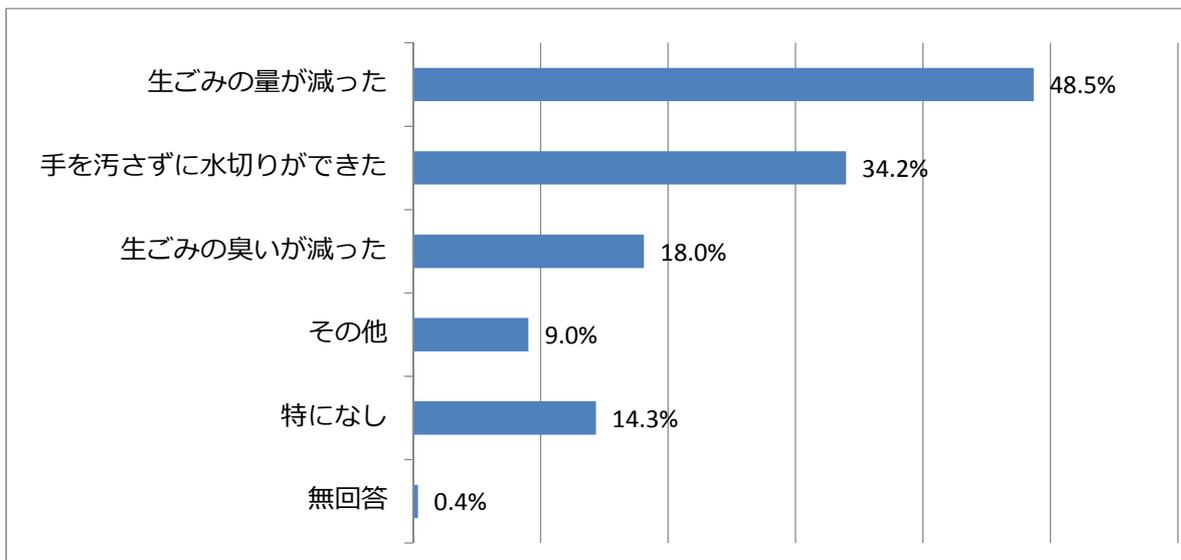
■その他・・・手で絞る、乾燥させる、堆肥化など



Q3. 生ごみ水切り器を使って良かったところは何ですか？(複数回答) [回答者数=266]

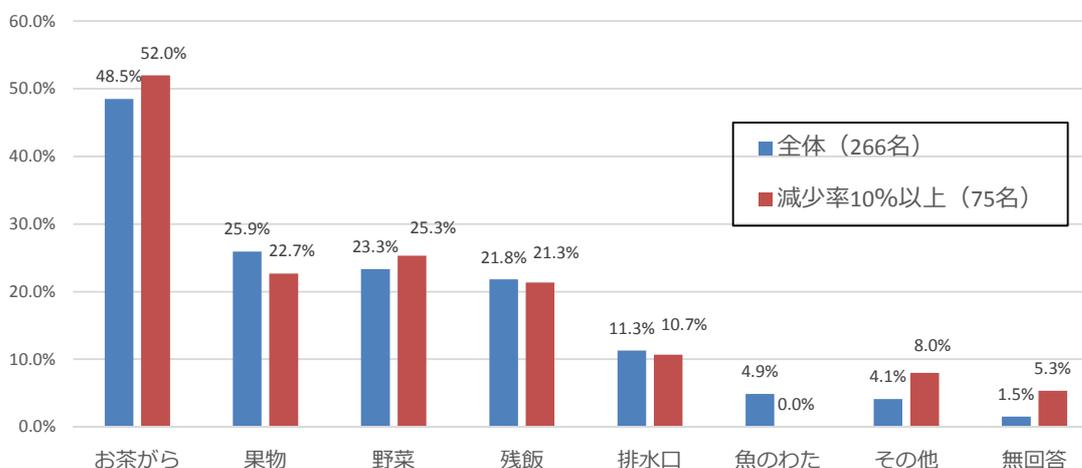
	回答数(人)	割合(%)
生ごみの量が減った	129	48.5%
手を汚さずに水切りができた	91	34.2%
生ごみの臭いが減った	48	18.0%
その他	24	9.0%
特になし	38	14.3%
無回答	1	0.4%

■その他・・・コバエが減った、水が良く切れた、使いやすかったなど



#### Q4. 生ごみ水切り器での水切りに向いている生ごみは？（複数回答）

	全体[回答者数=266]		減少率 10%以上[回答者数=75]	
	回答数	全体の回答数に対する割合	回答数	減少率 10%以上の回答数に対する割合
お茶がら	129	48.5%	39	52.0%
果物	69	25.9%	17	22.7%
野菜	62	23.3%	19	25.3%
残飯	58	21.8%	16	21.3%
排水口	30	11.3%	8	10.7%
魚のわた	13	4.9%	0	0.0%
その他	11	4.1%	6	8.0%
無回答	4	1.5%	4	5.3%



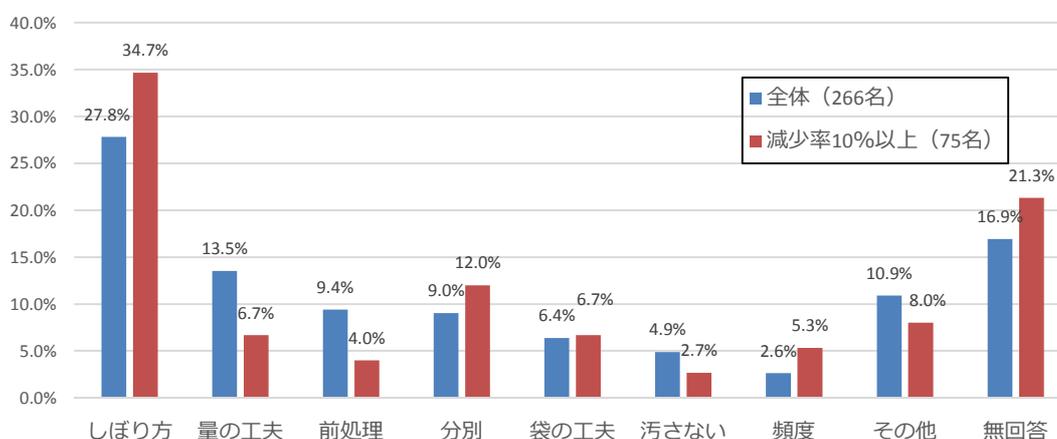
水切りによる減量効果が高い生ごみの種類は、モニター世帯全体と減少率 10%の世帯では特に差はなかったが、お茶がらや水分を多く含んだ果物・野菜という回答が多かった。

#### 【減少率 10%以上のモニターの回答（一部抜粋）】

- 水分を多めに含んでいる野菜、排水口のネットにたまった生ごみ。
- 排水口のごみを水切りネットごと水切り器にはさむと効果があった。
- ブドウやプラムなど皮の柔らかい果物、スイカやメロンの皮を小さく切ったもの、さんまやさばの内臓。
- 日々麦茶のティーバッグを使用しているので水分をたっぷり含んでいてとても絞ることができました。
- コーヒー（粉）【抽出前 26 g → 抽出後 74.1 g → 水切り後 67 g】
- 麺類は水を含んでしまうことが多いのでその分水切りでの減量効果が多かったです。
- 山菜の水切り処理。量は入らないけど、小分けにすればつぶしやすいし、ヤニやアクでべとついても洗いやすいので。
- 残飯の水切りは良かったが、スイカやメロンはなかなかしぼれなかった。
- キャベツの外葉など水分少ないものは向いていないのでは。

Q5. 生ごみ水切り器で水切りをする際に工夫したことは何ですか？（複数回答）

	全体[回答者数=266]		減少率 10%以上[回答者数=75]	
	回答数	全体の回答数に 対する割合	回答数	減少率 10%以上の 回答数に対する割合
しぼり方	74	27.8%	26	34.7%
量の工夫	36	13.5%	5	6.7%
前処理	25	9.4%	3	4.0%
分別	24	9.0%	9	12.0%
袋の工夫	17	6.4%	5	6.7%
汚さない	13	4.9%	2	2.7%
頻度	7	2.6%	4	5.3%
その他	29	10.9%	6	8.0%
無回答	45	16.9%	16	21.3%



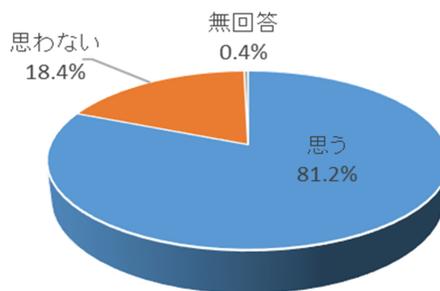
全体と比較して、減少率が10%以上の世帯で多く見られた水切り実践時の工夫は「しぼり方（+6.9%）」「分別（+3.0%）」「頻度（+2.7%）」。各世帯で、さまざまな視点からの効果的な水切りへの工夫が見られた。

【減少率10%以上のモニターの回答（抜粋）】

- なるべくこまめに水切りするようにした。スイカやメロンの皮と果実を分けるとしぼりやすかった。水切りすると思うと自然とごみが減った。
- 少し長めに色々な側面から押す。ブロッコリーの芯や貝類、スイカやとうきび等は水切りした後に入れる。
- 卵の殻は上部において絞りながら砕く。一度絞った後更に力を加えなおすとよく水が切れた。
- 水切りを使用する以前の手順としてなるべく野菜は不可食部分を切って洗う。コーヒーマシンは時間を置いてから片付ける。
- あまりたくさんになると水切りしにくくなるのである程度で次の袋をセットした。ぬめり対策のため、除菌洗剤で洗いそのまますすぎ使用した。
- 風通しのよいところに絞ったごみごとぶら下げた。使用后、洗った後も外にぶら下げて干した。
- 一気にしぼらず少しずつ何度も水切りすることで、水分が出やすかった。
- 生ごみの量が多いとしぼるときに力があるのであまり多くならないうちにしぼった。

Q6. 生ごみ水切り器の調査前後で意識が変わったと思いますか？ [回答数=266]

	回答数(人)	割合(%)
思う	216	81.2%
思わない	49	18.4%
無回答	1	0.4%



思う

20代	女	最初はやらなきゃと言う気持ちでしたが、水切りをすると明らかにごみの重さが違い、ごみ捨てが楽になったので今はして当たり前になりました。
20代	女	道具を使えば今までよりずっと楽に片付けられる。
30代	女	量るのが楽しくて子どもたちも一緒にやってくれた。食べくずが出ないように残さず食べるようになった。
30代	女	ごみに意識が向いていたので自然と以前よりごみが減ったように思う。何よりも意識することで変わるんだ！と思った。
30代	女	水切り器を使うと重さも軽くなる上に手の汚れも少ないので重宝します！水切りがしっかりできているので、コンポストも順調です。
40代	女	水を切ることが大事なんだと思った。水切り器を使用することでシンクもすっきり清潔に保ててよかったです。
40代	女	少しでも工夫すればごみのかさが減ると測って実感できた。乾燥させるとより減るし「もっと何かできないか」というマインドになれた。
40代	女	水分がごみ処理工場でごみを燃やす時の発電量に大きく関わるということに興味を持った。今まで知らなかったのもっと広まってほしい。
50代	女	水切りすると生ごみの量がコンパクトになり有料の指定袋の大きさも小さなものですむようになったのでこれからも続けていきたいと思います。
50代	女	1回はわずかであっても、考えると5Kg以上の減量になると思う。これが全世帯になったら、小さくても大きいひとしぼりだと思ふ。
50代	男	以前から水切りを行っていたが実際に数字を見てあらためてその効果を確認することができた。
60代	女	ちょっとした工夫でごみ減量はできるんだという自信と、食品をムダにしない使い切ることがエコだし、お財布にもやさしいと思った。
60代	男	毎日の水分は少しだが1ヶ月で見るとすごいと思う。
60代	男	家庭で発生する生ごみの堆肥化や少量化を安価で簡単に出来ないかなと思っています。市の購入補助制度の活用し生ごみ処理機も使用したい。
70代	男	水切りをするのが楽しくなった。水切り効果は大きかったときは驚きもありませんと続けようと思った。

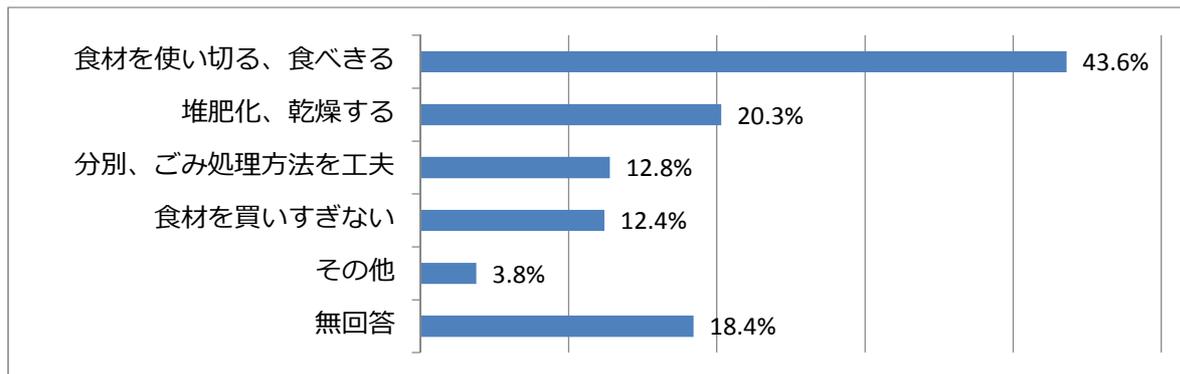
思わない

30代	女	もともと意識していたので。ただ実行に便利な道具を知らなかったので今回は良い商品に出会えてうれしく思っています。
40代	女	普段どおり。形が変わっただけなので特に気持ちの変化は無い。この商品の便利さがよくわかり使ってきた穴あきボウルを変えました。
40代	女	以前から必要以上濡らさないようにして捨てていたし、今回自分が出している生ごみからはそれほど水が出ないことが分かったため。
40代	女	生ごみ処理器やコンポストを利用するにしても水分が多いとうまいかないのでやはり水切りは大切だと再確認しました。
50代	男	コンポストを使っているから。
60代	女	以前からごみ(特に生ごみ)処理に関心がありましたので、意識は変わりません。

Q7. 生ごみの水切り以外に生ごみ減量のために取り組んでいることは？（複数回答）

[回答者数=266]

	回答数(人)	割合(%)
食材を使い切る、食べきる	116	43.6%
堆肥化、乾燥する	54	20.3%
分別、ごみ処理方法を工夫	34	12.8%
食材を買いすぎない	33	12.4%
その他	10	3.8%
無回答	49	18.4%



**食材を使い切る、食べきる**

20代	女	野菜の皮は極力捨てずに料理に使うようにしている。魚の骨も生ごみとして捨てず、焼いて食べるようにしている。
30代	女	生ごみを減らすためにおかずが残ったとしてもリメイクして次の食卓に出すようにしています。残さず食べるよう子どもにもしつけています。
50代	女	野菜の皮は良くこすっておけば削らなくてもまるごと食べられ生ごみを出さずに済みます。

**堆肥化、乾燥する**

30代	女	野菜くずや果物の皮は刻んで乾燥させ家庭菜園に。コーヒーがらは乾燥させ菜園や消臭剤に。野菜は皮ごと調理(人参、ごぼう等)。食べ残さない。
40代	女	冬になるとコーヒーがらはストーブの上で乾かして集め、春になると畑の肥料にしています。
50代	男	今後は次のステップとして乾燥させることを日常にしたいと考えております。

**分別、ごみ処理方法を工夫**

30代	女	ごみの分別をちゃんとする(特に紙ごみ)。
30代	男	スーパーなどで購入する際、不要部分は除いてくる。生ごみ減量をしていると皮や芯がある食材を選ぶ際にためらってしまう。

**食材を買いすぎない**

40代	女	使い切る量しか買わない。
50代	男	一番重要なのは不要なものは買わないことだと思う。買った物は使い切る。間接的かもしれないが買い物の仕方でごみの減量ができると思う。

**その他**

50代	女	三角コーナーに入れて絞り捨てていたが、今回これまでのやり方を反省。改めて分別が大事と思いました。
-----	---	--